



山田(桶浦)敬子

まなぶということ

政府白書が示す 私たちの現在、過去、未来

働き方改革の動向と取るべき対策
メンタルヘルスを初めて取り上げた厚労白書

深刻化する担い手不足 支え合ひ社会を築くために
地方財政の理解を深めるための白書。だが……

「病理現象」から見えてくる現代社会の姿
市民不在のエネルギー白書

三重苦にあえぐ中小企業
多層的な経済外交をめざす通商白書

根強く残る固定的な性別役割分担・思い込み

おもしろいから、ぜひ読んでみてほしい厚生労働白書

25 23 20 18 16 14 12 10 8 6

日本のうしお 世界のうしお

有権者が選挙で求めたものは、
自民党の団結を守ること? 丸山重威

急成長のスポットワーク 進む働く者の「モノ化」 関口達矢 27

国際的なプラスチック汚染防止に向けた
ルールづくりは進むのか 中地重晴

国家と教育 31 学校統廃合裁判と人口減少社会 小林和記 50

職場の法律相談 息子の自死 会社に責任を取らせたい 小川隆太郎 54

からまなぶ『賃金論』 6 地域手当と自治体労働者 菅原修一 57

講上學習会『共産党宣言』11 種々の反対党に対する共産主義者の立場 61

◆ キャラバンサライ	◆ スポーツ時評	◆ 働くものと健康	◆ 情報BOX	◆ 北から南から	◆ 経済を知ろう!
44 42 40 38	66 65 48 46	◆ センターとみなさんをつなぐ	68		

◆ 中國觀看	◆ みんなをつなぐ
--------	-----------

カット! 野崎安希子

7月の参議院選挙、参政党の神谷宗幣代表は「今まで間違えてたんですよ、男女共同参画とか、若い女性にたくさん子どもを産んでもらう、高齢女性は産めない、選択的夫婦別姓やLGBTはイデオロギーに絡んだ政策だと声高に主張した。

8月1日、神谷氏は「共産主義及び文化的マルクス主義の浸透と国家制度への影響に関する質問主意書」を提出した。主意書は「ジエンダー絶対主義、反家族主義、歴史否定、国籍・主権の相対化などを文化的マルクス主義の具体例として挙げ、共産主義や文化的マルクス主義により行政、教育界、法曹界などを通じて制度の内側からの国家秩序の転覆がはかられていると、その影響について問うた。政府の答弁書は「具体的に意味するところが不明 回答できない」で終わつたが、参政党が「陰謀論」、「共産主義」忌避、排外主義、反フェミニズムを唱え

る国政政党であることを改めて示した。

参院選では、低賃金の非正規労働で生活にあえぐ多くの女性たちの受け皿に既存の政党はなり得なかつた。むしろジエンダー平等という切り口に反発、資本に対抗するには働く者のネットワーク(労働組合)・團結が大切であるという言葉は響かない、デマいつぱいの歴史修正主義の言説を信じる、レイシズムに抵抗がない女性が大量に生み出されてしまつたと感じる。選挙中しばしば報じられた参政党支持の女性たちの熱い応援。子どもを持つ、専業主婦が良い食や農・オガニック重視、反ワクチン等の主張が刺さったとの分析もあるが、彼女たちの承認欲求に参政党は応えたのだ。

9月15日まで「第6次男女共同参画基本計画」のパブコメ募集が行われたが、参政党の主張に沿った意見も多かつたようだ。極めて憂慮すべき事態だ。だからこそ私たちは、参政党の主張を無視したり、正義を掲げて糾弾するだけでなく、相手に届く言葉を見つけて問い合わせねばならない。それができるような学びこそ求められているのかもしれない。